

※CAPとは：子供達が様々な暴力から自分を守るための人権教育プログラムです

砂子澤 富美子議員



質問①

小学校授業等のCAP導入について

問

現在、子供達に「あらゆる暴力から自分を守る」事について、学校で行っている取組があれば教えて下さい。

答

道徳の授業を中心に取り組んでおり、自分の安全を守る権利や信頼できる大人に相談する事の大切さを価値項目の一つとして位置づけ、自分事として考えられる様指導しています。全教職員で情報共有を図り、児童生徒の話を聞く機会を設定して取り組んでいます。

問

現在各所で活動されているうらかわCAPですが、様似町でもおとなワークショップを開催されています。今後、学校授業等での導入が大変有意義

だと考えますが、導入の考えはありますか。

答

CAPはじめ・虐待・体罰・誘拐・性暴力等、様々な暴力から子供が自分の心とからだを守る様、主体は子供自身と捉え、子供が被害者・加害者・傍観者にならない事を旨とする予防教育プログラムと認識、現時点では具体的な計画はございません。

問

現在も今後、町では色々な取組をされていると理解しています。CAPは、子供達がかけるのない自分自身の大切さに気づき、安心出来る学びだと思えます。

答

良い取組みをされているんだろうと思いますが、まずはお話を聞かない事には分かりませんので、色々な事を私達の方も学ばせて頂きたいと思えます。

質問②

外国人への取組について

問

3年前に同様の一般質問を行い「現在行っている事も予定も特にないが、必要に応じて取り組んでいく」という答弁でしたが、その後について伺います。

答

特にないが、窓口での対応にタブレット端末に翻訳アプリを入れて、外国人にも分かりやすくしています。

問

外国人及び日本人が、文化の違い等で困っている事の把握はありますか。

答

現在は把握も予定もありませんが、要望が出た際は改善したいと考えております。

問

転入の際等はもちろん、災害時の避難方法・手段等の対応は大丈夫ですか。

答

雇用主を通した中でやっていかなければとは感じしていました。

問

子供の学校等についてはどうですか。

答

そこまで困ったのは当町ではないが、日高管内では親子で言葉が分からない例が沢山あるので、そうなった時は対応したいと思えます。

問

イベント等についてはどうですか。母国の文化を日本で経験出来るのは大切な事、日本人にとっても他国の文化に触れる機会だと思えますが。

答

過去にはあった様に感じて

問

国籍に関わらず町民が困っている時はお話を伺う対応が必要ではないでしょうか。

答

当町は外国人の方により良くより過ししやすい取組は特に考えず、必要になったらというスタンスで行くのですか。

答

議員が思っているなら活動して頂きたいですし、町としてもサポート出来る部分はさせて頂きたいと思えます。

質問③

歩行者及び自転車を対象とした町内の道路の安全について

問

①危険箇所と把握・認識している場所

②街頭LED化含む改善計画の進捗状況

③通学路の整備計画

④横断歩道ミラー等の設置・要請

⑤町・道・国管轄道路の草刈りの実施・要請

⑥町民、特に高齢者・障害者・子供達の意見や要望

⑦熊対策

答

①に関しては、現状把握し危険箇所は、即時対応している。

②現在約39%をLED化している。

③・④ 予算措置状況により優先順に整備していく。

⑤国道は、ワンシーズン1回、町道は、2回実施。

⑥早急に出来るものは、対応しているが、意見や要望は把握出来ていない。

⑦産業課と連携し、早急対応し、看板設置、防災無線、メール等で住民に周知している。

問

今後自動車はもちろん、

車椅子の方、高齢の方、子供達、通勤・通学、小さいお子様連れの方等、全ての歩行者・自転車の観点からも町内の道路の安全確認をしっかりとお願いしたいと思えます。

答

把握している箇所については確認してきた経緯あり、都度検討してきている。その上で現状となっている事については諸事情等あるが、危険箇所については早急に対応していきたいと思えます。



質問①

津波避難警報発令による避難状況とその対策について

問 近年、直近3回の津波避難の地域別状況について、質問いたします。

答 直近3回の津波避難の地域別状況についてですが、お手元にお配りした一覧表のとおりとなっております。なお、すべての箇所を現地確認できているわけではないので、あくまでも概数としておとぐださい。

問 各発令解除後、各避難施設・場所において、施設・整備・

備品等で変化・改良した点について質問いたします。

答 各場所に避難者を記録する避難者名簿を整備したこと、避難所の一つである葬斎場について、12月の避難の際に避難者がストーブの付け方や水落ししていた水抜き栓の使い方が分かなかったことから、その取扱方法を館内に掲示したこと、狭い駐車場に多くの車両が侵入してきた潮見台の寺社及び田代研修センターに車両誘導のための誘導棒を設置したことなどのほか、今年度中に、日よけテントや瞬間冷却バックなどの熱中症対策用品、寒さをしのぐためのカイロの追加購入を予定しているところです。

また、多くの町民が避難するソビラ荘の施設内にも新たに食料や水、毛布などを備蓄すること、現在は米粉クッキーがほとんどとなっている備蓄食料について、アルファ米や缶詰パンなどその他の食料品を拡充すること、さらに真夏の避難となった昨年のカムチャツカ沖地震の際、田代研修センターにおいて幼児センターの幼児等も含めて多くの町民が暑さに難渋したことが

ら、網戸を新たに設置することなどを検討しています。

問 避難施設の岡田生活館について、男女兼用のトイレについて質問いたします。

答 岡田生活館の男女兼用トイレについてですが、現状は小便器・大便器それぞれ基が設置された男女で仕切りのない水洗トイレとなっております。

問 配布された資料は、係員が作ったのか、あるいは自治会の担当者も含めて聞き取り調査をしたのか。

答 先般広報にも載せさせていただきましたが、避難の際の町民アンケートを今やっております。是非沢山の方々お答えいただいて、この資料の数字も含めて整理し分析したうえで、町民の皆さんには広報を通じて、お知らせしたいと思っております。

問 先日岡田生活館とチセでアイヌ協会恒例の事業が実施され、白老町のアイヌ民俗舞踊保存会10数名、ほとんどが女

性との交流があったと聞いておりますが、町内避難施設のなかで男女兼用のトイレについてのはいくつかあります。ごく最近、国交省のガイドラインで女性のトイレを増やすことが示されました。

是非検討していただきたいと思いますが。



答 恐らく兼用は、ないのではないかと思います。

昨年、岡田生活館の避難所としてのありようについて質問いただきました。そのあと何回か場所に行ってみました。本当に夜になつたら暗い。それから生活

館そのものも非常に古い、昭和40数年の建物、しかもコンクリートブロック造りで、耐震性が低いというようなこともあります。公共施設の個別施設設計画上では、大変失礼ですが、利用頻度から見て、田代と統廃合してもいいのではないかと判断でしたけども、いざという時の避難先として重要であるということも、考慮する必要があります。

これらを踏まえて、岡田生活館のトイレの問題について、どのような形にするかは別にしても、前向きに検討したいと思っております。

